

市場文化会館だより

いかがお過ごしですか

阿波中央橋

中央橋が架かる前は渡し船(「源太の渡し」)で行き来していましたが、当時の柿島村と鴨島町が協力し、1928(昭和3)年に木造の潜水橋「記念吉野川中央橋」が完成しました。(北岸は柿島村柿原、南岸は同村知恵島)工事は陸軍善通寺師団工兵第11大隊の架橋演習訓練として7月29日に着工し、8月8日までのなんと11日間で完成しました。柿原堰が直ぐ下流にあったため川面から橋桁までは1mに満たない高さでした。洪水のたびに大破・流水を繰り返しました。

阿波中央橋は吉野川市鴨島町知恵島と阿波市吉野町柿原を結ぶ橋で、全長821m幅6m、戦後の永久抜水橋としては完成当時、日本最長でした。県内の吉野川に架かる永久橋としては4番目に開通した橋で、1946(昭和21)年に計画し、GHQ からの資材提供により1950年に着工、1953年に完成しました。なお、1番目は吉野川橋で1928年開通、全長1071m幅6.1mです。

橋の南北の入口にある親柱に腰掛ける男女の児童像(石像)が4体あります。この石像の作者は日系二世のイサム・ノグチで「永遠の平和」を祈る意味で設置されました。(吉野川交流推進会議「阿波中央橋一橋に懸かる思い」より)



米軍空中写真(1948年)



親柱に腰掛ける児童像(イサム・ノグチ作)



朝焼けと阿波中央橋

地形図「川嶋」柿島村周辺(1896年)



木造の「記念吉野川中央橋」(1928年) 写真集『吉野川今昔Ⅱ』より

